

一般質問

市政のいまを問う

この定例会では、9月5日から7日までの3日間で、17人が登壇し、39項目にわたり、市政全般についてたまたま一般質問が行われました。

主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順）

- 山本 シモ子 議員
 - ※1 全町を走る市内巡回バスの拡充について
 - ※2 幼小中学校の応援施策の拡充について
 - ※3 非核自治体宣言の制定について
- 蜂須賀 信明 議員
 - ※1 職員の人材育成の基本的な考え方について
 - ※2 学校における読書活動について
 - ※3 学校保健の充実について
- 白土 美恵子 議員
 - ※1 認知症施策と介護予防について
 - ※2 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成について
 - ※3 網球男子部員について
- 鈴木 健治 議員
 - ※1 将来の刈谷のまちづくりについて
 - ※2 マス・メディアとの協力関係について
 - ※3 耐震診断の危険なコンクリートブロック塀の耐震診断について
- 新井 健治 議員
 - ※1 生活保護受給者へのエアコン設置費用の支給について
 - ※2 市民生活の振興と活性化について
 - ※3 農商工業の振興と活性化について
- 星野 雅春 議員
 - ※1 水害対策について
 - ※2 刈谷市子ども・若者支援地域協議会について
 - ※3 空き家・空き地対策について
- 新井 昌哉 議員
 - ※1 市職員における障害者雇用について
 - ※2 刈谷城一部復元30億円について
 - ※3 委託業務のあり方について
- 上田 空家 議員
 - ※1 刈谷市の子育てについて
 - ※2 佐藤 充 議員
 - ※3 佐藤 充 議員
- 中嶋 祥元 議員
 - ※1 子どもの体力向上について
 - ※2 スポーツ施設の充実について
 - ※3 スポーツ施設の熱中症対策について
- 鈴木 浩二 議員
 - ※1 市民生活の各種環境改善に向けた市民の声への対応について
 - ※2 口腔ケアと歯の健康について
 - ※3 特別支援教育の切れ目ない支援体制について
- 加藤 賢次 議員
 - ※1 野村 武文 議員
 - ※2 野村 武文 議員
 - ※3 野村 武文 議員
- 稲垣 雅弘 議員
 - ※1 自治型地域福祉実現に向けた行政パラダイムの転換と包括的な支援体制の構築について
 - ※2 介護の現状と課題について
 - ※3 特定外来生物の駆除について
- 加藤 廣行 議員
 - ※1 市民だよりの配布と自治会加入について
 - ※2 人事制度の疑問点について
 - ※3 刈谷城築城の白紙撤回について
- 野村 武文 議員
 - ※1 農商工業の振興と活性化について
 - ※2 歴史博物館の開業と展開について
 - ※3 歴史博物館の開業と展開について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

山本 シモ子 議員

新任吉幼稚園に給食調理室を設置し、給食は自園方式に

新任吉幼稚園についても、給食センター方式で実施する

問 住吉幼稚園の新園舎建設工事が土壌汚染の関係で延期となり、設計の見直しが行われると思うが、新任吉幼稚園に給食調理室の設置を検討する考えは。
答 新園舎建設については設計を終え、工事請負契約を既に締結をしている状況である。これまで同様、給食センター方式で実施をしていきたいと考えている。

蜂須賀 信明 議員

自園方式での調理は、市民の期待に応えることができる職員育成を

組織全体の課題として、職員一丸となって努めていく

問 市民に対する高圧的な態度や地区の改善要望の放置など、職員の不誠実な対応が目立っているが、どう考えているか。
答 誠意ある対応ができておらずお詫び申し上げ、丁寧な対応の積み重ねが、信頼につながり、円滑な業務に不可欠であることを指導徹底していく。

白土 美恵子 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン任意接種費用助成制度の継続を

国の動向及び本市の現況を勘案し検討する

問 高齢者肺炎球菌の任意接種費用助成の内容は。
答 任意接種費用助成の対象者は、定期接種の対象となつたときに、接種を受けられなかった方で、過去に一度も費用助成を受けていない方が対象となる。助成額は3,000円で、市民税非課税世帯または生活保護受給者世帯などの方は上限8,000円まで助成をしている。

佐藤 充 議員

障害者支援の充実のため、様々な取り組みの連携を

福祉と教育の連携など支えあう社会づくりを推進していく

問 働き方改革や様々なメリツトが期待できる農福連携の進展を踏まえ、新たな障害者雇用の場を創出していくべきではないか。
答 現在、企業を対象に障害者雇用に関するセミナーや就労移行支援事業所の見学会等を実施しているが、さらなる雇用の場が生まれるよう農福連携も踏まえ先進事例の調査研究に努めていきたい。

中嶋 祥元 議員

ベースボール型授業の取り組みで、児童生徒の体力向上を

自然に楽しさを実感できるゲーム的要素などを取り入れ実施する

問 体力テストのボール投げなどの結果が低く、投げる機会を増やすことと基本指導が重要と考える。幼保、小学校及び放課後子ども教室で野球に似た遊びを取り入れることへの見解は。
答 投げる、走るといった運動に対しての効果が期待できるため、子どもが楽しいと思える内容や方法について検討する。

鈴木 浩二 議員

学校体育館にもエアコンの早期設置を

今後の大きな課題と認識しており、調査研究を進める

問 学校の体育館は、児童はもとより、災害時の避難所、総合型地域スポーツクラブの拠点となるが、エアコンの設置は、児童の健康や高齢者や障害者の

菌の予防接種者数は。
答 平成29年度末の65歳以上人口2万9,801人に対し、接種率は48.6%である。
問 本市では平成25年8月から独自に任意接種の費用助成を
答 人口減少などによりこれまで以上に複数の自治体が生え合う時代になる。引き続き定住自立圏域の市町と連携していく。
問 今後の本市の発展のためには、定住自立圏による広域連携は限界で、合併へとステップアップするべきである。合併
答 政治をする上で、大きな視野で見、次の行動を考えていくことが大事である。定住自立圏についての考えは、人口減少などによりこれまで以上に複数の自治体が生え合う時代になる。引き続き定住自立圏域の市町と連携していく。

鈴木 健治 議員

市内各小中学校の施設内及び民間建築物のブロック塀は安全か

建築基準に適合しない小中学校のブロック塀は既に撤去を完了

問 市内各小中学校の施設内のブロック塀について、安全点検を行ったがその調査結果はいかに。
答 建築基準に適合していないブロック塀として、かりがね小学校と住吉小学校の2か所を撤去した。また、日高小学校に建築基準には適合しているが、通学路に面したブロック塀があったため、撤去しフェンスを設置している。

星野 雅春 議員

子ども・若者を支援するため、各機関が横断的な取り組みを

子ども・若者支援協議会の中で連携体制を構築していく

問 子どもや若者は自分の将来に夢と希望を持って生きていく権利がある。その権利を阻害するものを社会全体で取り除いていくことは、義務であり責任がある。本市が子ども・若者支
答 子どもや若者は自分の将来に夢と希望を持って生きていく権利がある。その権利を阻害するものを社会全体で取り除いていくことは、義務であり責任がある。本市が子ども・若者支

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。

加藤 賢次 議員

近隣市町が一体となり、公共施設連絡バスの広域的運行を

有料運行が必須のため、十分な検証が必要である

問 自動車を使用しない高齢者などの重要な移動手段として、公共施設連絡バスを広域的に運行できるように検討してほしい。広域的運行の取り組み状況は。
答 現在、近隣市町間の交通需要に対応する広域路線として、安城市、知立市、高浜市、東浦町のコミュニティバスが刈谷豊田総合病院や鉄道駅に乗り入れを行っている。本市は無料運行の形態であるが、他市町では有料であるため、乗り入れは双方の公平性の観点から難しいと判断している。



児童・生徒が共に学び、交流できる環境（刈谷特別支援学校中庭）



高齢者肺炎球菌ワクチン接種率の向上を



公共施設連絡バスを広域的に運行し、利便性の向上を

公職選挙法で市議会議員は寄附や年賀状を出すことが禁止されています。

禁止されている寄附の主なものは左記のとおりです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同